



多摩市立東落合小学校第6学年 東京都

児童による高齢者宅のゴミ出しボランティア



訪問してあいさつを交わし、ゴミを受け取ります。「いつもありがとう」とうれしい声をかけてもらうことも多く、運動会や学芸会などの学校行事が近づく以案内をしています。

活動の概要

小学6年生が1年を通して週2回、高齢者宅のゴミ出しを手伝う活動です。ゴミ出し日の朝、子どもたちは登校前に2~4人の班ごとに集合し、高齢者宅を訪問してゴミを集積所まで運びます。3月には5年生と一緒にゴミ出しを行い、活動を引き継いでいます。2013年の開始から6年間で550名以上が参加。災害時の避難所となる小学校と地域との交流が深められています。地区の団地は5階建てでエレベーターがなく、高齢者はゴミ出しに苦労している状況でした。子どもたちは、活動を通して高齢者の負担を知り、お礼や労いの言葉に意欲を高めるなど、責任感や思いやりのこころが育まれています。



訪問先のお年寄りが、階段を降りてゴミを捨てに行くのが大変なことを、身をもって感じています。



ゴミを出して学校へ。訪問先の方が運動会に来て応援してくれるなど、交流が深められています。

活動の特徴

二つの課題の解決策に

階段でのゴミ出しに苦労する高齢者の多い団地に近く、災害時は避難所になる同校には、活動が「必要な地域交流と高齢者問題」の解決策になっています。



活動を支える縁の下の力持ち

活動は、依頼者との調整を行う教育連携コーディネーターや多摩市の青少年健全育成委員会の協力、自治会など地域との連携により支えられています。



継続を支えるモチベーションの工夫

学校では、掲示板に活動紹介の記事などを張り出すとともに、活動を「子どもを褒める機会」と捉え、いろいろな角度から褒める意識をしています。



参加者の声

最初は朝ギリギリだったのが遅れずに行けるようになりました。感謝や責任を感じながら1年間やりきりました。(小学6年生)

「ありがとう」の声に、人の役に立てていると、うれしく感じました。家でもゴミ出しをするようになりました。(小学6年生)

感謝の言葉に達成感を感じ、やってよかったと思いました。将来、人の役に立てる人になりたいと思いました。(小学6年生)

卒業後にお手伝いした方を見かけて「元気そうでよかった」と話し、優しい気持ちが育っていることを実感しました。(保護者)